

黒坂から交通事故のないまちを目指したい

「ゾーン30」記念パレード



みんなで交通安全を呼びかけながらパレード

黒坂地内の道路で「ゾーン30」が整備されたのを記念して、6月16日、町公民館で記念式典が開かれました。

ゾーン30とは、ゾーン内での自動車の制限速度を30^{キロ}に規制すること、高齢者や通学児童などの交通弱者を保護することを目的として、黒坂警察署が整備したものです。

当日は、景山町長をはじめ、原本黒坂警察署長や交通安全母の会、黒坂小学校の児童らが出席。記念式典では、景山町長が「ゾーン30の整備は日野郡ではじめて。黒坂から交通安全の啓発に取り組んでいきたい」とあいさつすると、黒坂小学校

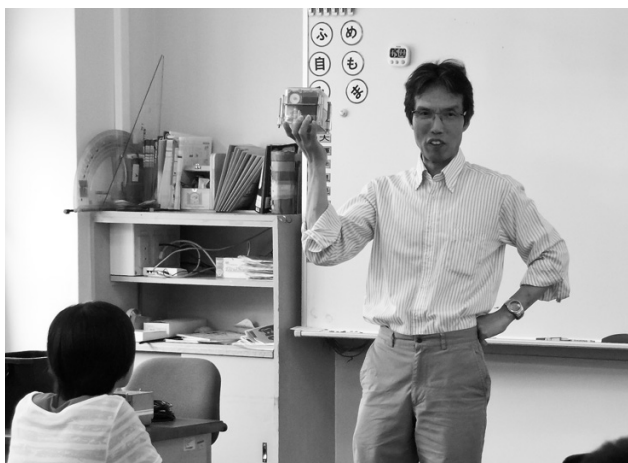
2年生の水谷大輔さんと伊田愛さんが交通安全宣言を行いました。

式典後は、警察広報犬「カリン」と「フーガ」が、出席者と共に町公民館からJR黒坂駅の間をパレードし、ゾーン30と交通安全の啓発を行いました。

パレード後は、カリンとフーガによる交通安全教室が開かれ、黒坂小学校の児童が横断歩道の渡り方など、交通安全について学びました。「交通事故のない安全なまちを目指したい」。ゾーン30の整備を機に、交通安全の取り組みへの決意を新たにした一日となりました。

子どもたちと進める防災

黒坂小学校6年生が地震計を設置



地震計を手に児童へ説明する飯尾さん

黒坂小学校6年生12人が、鳥取県、鳥取大学や京都大学などの研究者らでつくる地殻ダイナミクスグループと共同して、6月18日、黒坂の聖神社で地震計を設置しました。

これは、平成12年に発生した鳥取県西部地震で特に被害の大きかった黒坂地区で、1000カ所に地震計を設置し緻密な観測を行い（平成29年観測予定）、県西部地震の断層周辺の強度などを明らかにすることを目的としています。

設置に先立ち、防災意識の向上を図ろうと、児童らは同研究グループの京都大学防災研究所教授の飯尾能久さんや県の防災担当者から、最新の地震研究や地震への備えなどの授業を受けました。

授業を受けた後は、全員で聖神社に移動し、約15^分四方の大きさの地震計設置に取り掛かりました。飯尾さんの説明を聞きながら、児童らは地震計とデータを記録する機器との接続やGPSアンテナの取付などの作業を全員で行いました。生徒らは「地震計が思ったより小さくて驚いた」「これで地震が起きる仕組みなどが分かればうれしい」などと話していました。



実際に揺らして動作を確認



自分だけの宝物ができた

根雨小学校で「組み木おもちゃづくり出前教室」

6月19日、組み木デザイナーの小黒三郎さん（岡山県倉敷市）を迎え、木のおもちゃづくりグループ（金田美紀代表）が、根雨小学校で、組み木のおもちゃづくり出前教室を開きました。

これは、根雨小学校6年生を対象に、同グループが毎年行っているもので、今年は「昇り人形」を作りました。昇り人形は、左右に通された2本のひもを交互にひっぱると、よいしょ、よいしょと元気づく昇っていき、ひもを緩めるとするすると降りていきます。

児童らは、ライオンやウサギ、カニなど、さまざまな動物や生き

物を思い思いにデザインし、糸のこで切断、色ぬり、組み立てと作業を進めていきました。限られた時間の中での作業でしたが、小黒さんや同グループのスタッフが手伝い完成、児童らはほっとした笑顔を浮かべていました。

小黒さんは「ものを作るときもデザインするときも大事なものは、手、頭、ハート（想像する力）の3つ」と話し、「その3つを働かせたら、何をするにしても楽しくなる」と児童らに語りかけていました。

今回完成した作品は、10月末から開かれる第28回丹波の森ウッドクラフト展に出展されます。



小黒さんに教えてもらいながら作品作り



どれも力作ぞろい、今にも動き出しそう

子どもも大人も夢中、楽しい人形劇

人形劇団クラルテの「おひさま劇場」



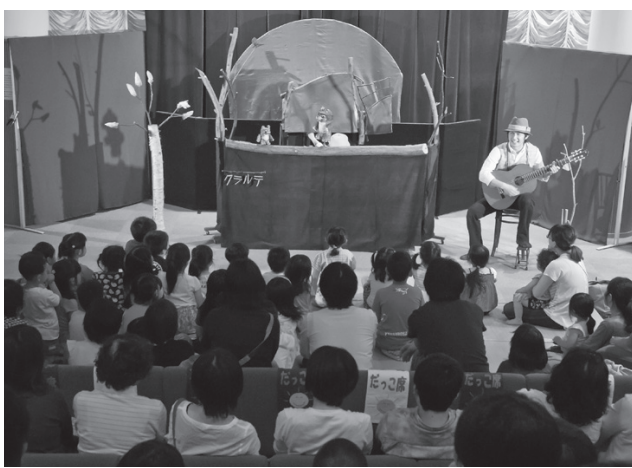
人形のコミカルな動きに会場から笑い声

小さな時から本物の芸術にふれて豊かな感性を育てたいと、町内で活動する「親子でアートを楽しむ会おひさま」（田口郁江会長）の主催で、6月12日、大阪の人形劇団クラルテの「おひさま劇場」が開かれました。

人形劇は、2人の劇団員が何体もの木製の人形を操り、それぞれ声を変えながら演じ分けます。

おひさま劇場は、朝と夜の2回公演で、朝の部は、ひのっこ保育所で、「うさぎのおうち」「ごりらのパンやさん」が上演されました。当日は、園児や子育て支援室おひさまひろばの親子や家族だけでなく、町外からも多くの親子らがためかけ、人形劇を楽しく鑑賞しました。

夜の部は町文化センターに場所を移し、「ねえ、とうさん」「だっでだっのおばあさん」の2本が上演され、こちらも多くの親子や家族が観賞しました。会場には、抱っこ席も設けられ、親子で人形劇を楽しむ様子が見られたほか、子どもたちは、歓声を上げたり、笑顔を見せたりするなど、人形の動きやしぐさに魅了されている様子でした。



多くの人が訪れ人形劇に釘付け